

第2学年2組 算数科学習指導案

令和4年1月21日（金）第3時限（多目的室）

指導者 中谷 優里

1 単元 1000をこえる数

2 指導計画（6時間完了） ※単元内自由進度的ため、時間は目安

- (1) 1000をこえる数の数え方を理解する・・・1時間
- (2) 1000をこえる数の表し方を考える・・・1時間
- (3) 100をもとに数の相対的な見方を考える・・・1時間（本時）
- (4) 10000という数を調べる・・・1時間
- (5) 数直線を使って10000について考える・・・1時間
- (6) 1000をこえる数のまとめ・・・1時間

3 本時の指導

(1) 目標

自分に合った学習教材を選択し自分のペースで学習を進めながら、100をもとに1000をこえる数の大きさの表し方を説明することができる。

(2) 努力点との関わり

本学級の児童は、既習事項とのつながりを意識して学習内容を理解することができる児童が多い。一方で、既習事項から学び直しが必要な児童も少なからずいるなど、習熟度に差がある。そこで、本単元では、単元内自由進度学習を取り入れる。単元内自由進度学習は、自分で学習教材を選び、自分のペースで個別に学習を進めていくことができる。その際に、友達同士で教え合うことで、学び合いが生まれる。また、教師は自力で問題を理解することが苦手な児童に援助することができる。学び合いの際には、課題を友達に分かりやすく説明する活動を取り入れる。理解したことを友だちに伝えることで、より学習内容の定着が図れると考える。









本単元ではタブレットを二つの目的で活用していく。一つ目は、学習の進捗を児童自身が把握するための活用である。ロイロノート内に作成した本単元の学習進度カードに、学習が終了したカードの色を変えることで、次に取り組む内容が選択でき、児童の主体性を引き出すことができる。二つ目は、個別最適な学びの教材としての活用である。タブレット内にあるドリルを使って、自分に合った学習教材を選択し、学習を進めることができる。

単元内自由進度学習とタブレットを活用することで、児童は自分に合った学習を選択でき、個別最適な学びにつながると考える。

(3) 準備

教師用タブレット(1台)、児童用タブレット(児童数)、学習プリント、説明で必要な物

(4) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
5分	<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <p>自分のペースで学習しながら、100を24こ集めた数について友達に説明できるようにしましょう。</p>	
<p>本時のめあて：100を24こあつめた数についてせつめいしよう</p>		
35分 (20分)	<p>2 自由進度で学習を進める。</p> <p>(1) 自分で学習教材や学習方法を選択し、学習を進めていく。</p> <div data-bbox="288 651 826 1111" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【学習方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人で取り組む ・友達と取り組む <p>【学習教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・計算ドリル ・かくにんショーテスト (計算プリント) ・ジャストスマイルドリル (タブレット内アプリ) </div> <div data-bbox="288 1115 791 1350" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【説明の際に使えるもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のノート ・お金の模型 ・ロイロノート ・数え棒 ・ロイロノートの資料箱にあるもの (お金、数え棒) </div> <p>今日は大きな数の3時間目だから、次はジャストスマイルドリルやろうかな。</p>	 <p>私はお金の模型を使って考えるよ。千円は100円10枚だから。</p>  <p>私はロイロノートの資料箱のお金を使って考えるよ。</p>  <p>みんなで考えてみよう。100円を基に考えるといいかな。</p>  <p>説明できそうだから、私は計算プリントで勉強しよう。</p>  <p>文字で説明してみよう。1000と100に分けて考えて・・・</p>
(15分)	<p>(2) 自分の考えを共有し、考えを深める。</p>  <p>分かりやすいか、先生にも説明して確かめてみよう。先生2400は1000と1000を足して2000。残り400を足して2400です。</p>	<p>こう考えたけど分かる？</p> <p>なるほど。次は僕説明するね。僕はね・・・</p> 
5分	3 本時を振り返る。	